

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
2560地区ガバナー 大谷 光夫
高田ロータリー会長 高坂 光一
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第8回例会 ■ 8月30日(金)

No.8

会長挨拶 ● 高坂 光一

奉仕の充実のための会員増強



朝晩めっきり涼しくなり、あれだけ暑かった夏も懐かしく感じるようになりました。思い返せば今夏の厳しい暑さのせい、蝉の鳴き声も少なく、毎年悩ませる蚊の攻撃も無かったなあと思えば油断をしていたら痒くても掻きづらい人差し指第一関節にチクリ! まだまだ彼らも必死のようです。

さて、先週は地区熊木委員長から会員増強について卓話を頂きました。言うまでもなくロータリークラブは奉仕団体です。昨年ソルトレイクシティ RC 等を訪問した際、地元のロータリアンから「私は何か奉仕をしたかった。でも個人では知識も偏り実現は難しい。奉仕の夢を活動に代えるには異業種と触れ合い知恵が必要だと考えたが、自分の周りにそのような団体が少なく RC を選んだ」とお聞きしました。42歳でユタ州のガバナーとなったディーン・ジャクソン氏(見た目は巨体のアメリカ人、でも広島生まれで高校まで東京で育ちユーモア混じりで日本語ペラペラの素敵な友?)からも「僕は夢の実現のために三年前(39歳)に立候補し選挙で選ばれガバナーになったんだよ」とブライスカanyon近くで夜空を見ながら楽しそうに話をしてくれたことを思い出します。

RCは職業分類を設け、あらゆる職業に漏れがないよう充実させ、奉仕活動する団体であり、地域の人材バンクともいえると思います。

会員増強は単に増やすことを目的にせず、地域

に対する奉仕を充実するために必要なことだということ認識していきましょう。

出席報告

出席率 92.0%

メイクアップ

高坂光一君・佐藤憲二君・高橋孫左衛門君(8/24ロータリー財団セミナー)
大谷光夫君・橋詰敏一君(8/29燕RC・分水RC・巻RC 公式訪問)
大谷光夫君・水上喜芳君(8/30新潟東RC 公式訪問)
大谷光夫君・高坂光一君・石倉 悟君・チャーリー君・内山 徹君(8/31国際奉仕フォーラム)
大島 誠君(8/31防減災セミナー)
橋詰敏一君(8/31・9/1米山奨学生親睦交流会)

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会
熊木繁雄君——高田ロータリークラブの皆様
大谷年度会員増強目標達成のため宜しくお願い致します。
佐藤明臣君——皆様と共に一歩一歩会員増強

幹事報告

配布物: 週報No.7・地区大会組織図

ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

9月12日 加茂RC

卓話

「ロータリーの健全性にとって会員増強は永遠のテーマである」 「なぜいま会員増強なのか！」

地区会員増強・地区拡大委員会 委員長 熊木 繁雄 様



本日は大谷年度におきます、会員増強年度目標達成を致すためのお願いを申し上げたいと思いますので、宜しくお願い致します。

まず、大谷年度の会員増強目標値は、前年度末比5%純増(約117人増)です。そして増強活動目標値は地区会員数の2,100人台の安定維持をする事です。

全クラブが一律5%増を達成できると117人増となりますが、一律5%増の実行は非常に厳しい状況にあります。前年度(2018-19年度)の状況を確認すると、地区56クラブにおいて、年度会員増がゼロもしくは会員減のクラブが39クラブ(約70%)あります。この状況からみて、委員会としては、各クラブの増強%に対しバランス調整が必要と思われます。そこで、各クラブに対し委員会目標を設定すべく検討していますので、皆様にはご理解とご協力を頂きますようお願い致します。

続いて、目標達成の為、地区及び全国の会員数の推移ですが、第2560地区会員数変動を確認すると、直近6年間の会員数は平均年当たり10人増ですが、さらに直近11年間の会員数は平均年当たり10人減となり、地区では2,100人を挟んでの横這い・停滞・減少傾向にあります。

次に全国における会員数は2001年4月～2019年1月迄、18年間の推移は29,237人の減少と大変厳しい大幅減少傾向にあります。

ゆえに「なぜいま会員増強なのか！」を考えると、これ以上会員数が大幅減少傾向に至ると、ロータリーの健全性を安定維持する事に大きな支障が生じる恐れがあると思われます。ロータリー活動を円滑に推進する為にも、RIマローニー会長が提唱されている「変化を実行に移す最初の年度にするように」をモットーに、この厳しい会員減少傾向に歯止めをかけ、増強・増員傾向へのスタートの年度とする事が、大谷年度の課題のひとつであると思います。ゆえにロータリーの健全性を安定維持する事が出来るため、会員増強・増員が今、大切な活動目標であると思います。

結びとして、会員増強にあたり、公共イメージの拡大と親睦とクラブの質の向上に努め、クラブ会長・幹事・会員増強委員長をはじめとし、増強に対する危機感を認識し、強い決意とヤル気をもって、クラブ内に強力なリーダーシップを発揮され、全会員が増強活動の意義を共有し、大きな行動に移す事と同時に「退会防止活動」にも大きな努力が必要と思われます。

最後に2019-20年度は私共第七分区 高田RC様より大谷ガバナーを輩出しております。大谷ガバナーの年度目標達成の為、最善の努力、活動をする事が私共ロータリアンの友情であると思います。高田RC様の10人以上の純増目標達成に大きな期待をさせて頂き、皆様の益々のご発展とご活躍を記念申し上げ、会員増強・地区拡大委員会からのお願いと致します。

「もう一つの顔」①

藤林 陽三 さん(中)

広報委員らが陣取った居間には暖炉がある。暖炉の下は地下3メートルまでコンクリートが打たれており、「秘密宝庫」が隠されているのだった。

「写真は撮ってかまわないけど、ボトルにはどうか触れないで」。ワイン愛にあふれる藤林さんは懇願するように、2、3度繰り返した。

暖炉脇のドアから1人ずつ地下の階段へ。最後の3段はガタがきていて、滑る。事前の注意がなかったら踏み外したかもしれない。無断侵入の輩を転がす仕掛け？

かすかなカビの匂いと静寂。薄暗い地下室の棚に、ワインは整然と横たわっていた。床にも大型ボトルがぎっしり。約450本という。保水性に富む、厚さ12センチの大谷石の壁に守られ、室温12～13度、湿度60～70%に保たれている。

ワインに振動は大敵だ。エアコンはファンを外

し、加湿は超音波でなく散水型。

25年前から積み上げられてきた宝の山の、どこに何があるのか把握できるのだろうか。

世界に1本の「守り神」も、そこに眠っていた。

広報・会報・
雑誌委員会
木村

